



収穫が始まった延岡市北方町特産の次郎柿（きょう午前）

北方特産の次郎柿

10/23 本格的な収穫始まる

延岡

「次郎柿」の収穫が本格的に始まった。今年夏場の天候不良に影響を受けたが、これから寒くなるといわれて甘さが増してくるという。次郎柿はJ-A延岡の直売所や市内の道の駅などに出荷され、市民に秋の味覚を届ける。

また、同町の道の駅北方よつちみろ屋では26日に秋の感謝祭を開き、次郎柿のほか、野菜や農産加工品などが販売される。

延岡市北方町特産の「次郎柿」の収穫が本格的に始まった。今年夏場の天候不良に影響を受けたが、これから寒くなるといわれて甘さが増してくるという。次郎柿はJ-A延岡の直売所や市内の道の駅などに出荷され、市民に秋の味覚を届ける。

で栽培している。同会によると、今年は7～8月の日照不足に影響を受けて生産量は少ない見込みだが、食味は例年通り良好という。このうち、約130㍍で栽培する同町蔵田辰の松原代表の柿園では、松原代表と妻の洋子さん(67)が色味などを確認しながら一つずつ丁寧に収穫していた。11月中旬から下旬ごろまで収穫は続くという、松原代表(68)は「朝夕の寒暖差が大きくなるごとに甘さも増し、味も良くなって

次郎柿は同町内で1935年ごろから植栽を始め、徐々に面積を拡大。現在は同町の柿農家てつくる延岡市果樹振興協議会柿分科会（松原美幸代表、11戸）が約6・9㍍